

# 読書に親しみ、読書の幅を広げようとする生徒の育成

— 自分の読書生活を振り返らせ、他者との交流を促す読書指導の工夫 —

学校図書館教育班 武川 光（中学校教諭）

## 生徒の実態（中1、4クラス） ※観察、アンケート結果から

- 読書への興味
  - ・朝読書にしっかりと取り組んでおり、読書が好きな生徒が約9割を占める。
- 読書傾向
  - ・「最近読んだ本」「おすすめの本」は、近年に書かれた、やさしい本がほとんど。
  - ・ノンフィクションや名作を読んでいる生徒が非常に少ない。

読書は好きであるが、  
読んでいる本の幅は、  
狭い。

## 課題解決の手だて1

振り返り 生徒同士の交流

### 読書カードによる朝読書の記録

読書への意欲をさら高め、  
読書の足跡を振り返らせるために、  
朝読書の記録を行わせる。

- \*読書カードへの記入事項
- ①朝読書で読んだページ数
  - ②今までの合計ページ数
  - ③読んだ本のおすすめ度

#### <支援のポイント>

- ・がんばりをほめる。
- ・題名やおすすめ度を紹介し合う活動を入れる。
- ・1000ページを達成した生徒を表彰する。

読書カード NO	1年組 番 氏名	読んだ本の名前	読んだページ数	合計ページ数	おすすめ度
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

## 課題解決の手だて2

教師と生徒の交流

### 教師による本の紹介

様々なジャンルに目を向けさせるため、国語の授業の際に、  
教師自身がおもしろいと感じた本を、意図的に紹介していく。  
紹介は、クラス全体だけでなく、個人にも行う。

- クラス全体・授業内容に関連する本、話題となっている本  
学校行事や生徒の活動に関連する本。
- 個人・その生徒の読む力や興味・関心、課題に沿った本。

#### <実際に紹介した本>

- ・職業に関して調べる時・・・プロフェッショナル「仕事の流儀」
- ・サッカー部の生徒・・・中村俊輔「察知力」
- ・運動で勝負弱い生徒・・・「勝負脳の鍛え方」
- ・家庭学習の悩みを持つ生徒・・・「今日から始めるやる気学習法」
- ・勉強の意義や友情について深く考えたい生徒・・・「14歳の君へ」
- ・面白い本を探している生徒・・・「世界の中の日本人ジョーク集」

## 課題解決の手だて3

振り返り 生徒同士の交流

### 国語科指導における読書単元指導の工夫

単元名 「おすすめの一冊を紹介しよう」(全4時間)

	選んだ本と自分との関わりを書き、自分の読書生活を振り返る。
1	・魅力ある書評のモデル文を提示し、相手を読みたくなる書評の構成の分析。 ※小泉今日子が読売新聞に書いた「頭の打ち所が悪かった熊の話」の書評 ・本文が「1段落・本（あらすじ）2段落・自分（考え）3段落・自分（体験）4段落・本（みんなへ向けて）」の4段落構成であることをとらえる。
2	・「おすすめの一冊」の紹介文の作成 Ⅰ部『本』（あらすじ）、Ⅱ部『自分と本との関わり』、Ⅲ部『本』（みんなへ向けて）、のⅢ部構成で書く。 ・Ⅱ部では、「選んだ本と自分との関わり」について、次から選んで書く。 ①「本から得たこと」 ②「おもしろかったところ」 ③「本の文章を抜き出し、それについて自分の意見を書く」
	発表を聞き、読書の幅を広げる意欲をもつ。
3	・「おすすめの一冊」の紹介文発表①（小集団） 5～6人の小集団の中で、紹介文を発表し合い、班の代表を選出する。
4	・「おすすめの一冊」の紹介文発表①（代表者） 2回目の小集団の紹介をした後に、代表者による発表を行う。 クラスの中で、特に支持された二冊は、図書館に入れることとする。

### 「『おすすめの一冊』を紹介しよう」の成果

自分との関わりが書かれた紹介文

北島選書の小さい頃のエピソードから、オリオン  
ビークン選書の「道のり」がわくわくしてうれし  
く感じました。そして、そんな逆境でも負けない強さの秘  
訣が書きかれています。

私から本から得たことはたくさんありますが、その  
中でも特に心に残ったのは、自分で自分の限界  
を決めないことが大事なことだということです。  
私は大会がたひには同じメンバーで泳いで  
きたのに、あの人は泳がなくていいと決めてしま  
っていました。ですから、この本を読んで、どう思っ  
たこと自体が勝てない理由だということに気付かせ  
れました。北島選手のように、今日記録が出る  
くても明日になれば出るかもしれないのです。  
今、部活や勉強で壁にぶつかって悩んでいる人  
や、自分の力を発揮して活躍したいと思っている人  
にぜひ読んでほしいと思います。さよなら悩み  
の穴、突破口が見つかるといいなと思います。

単元終了後の感想

多くは今まで読んだ本、1冊は本は初めて読んだ本で、とても面白くて、読んでいて、  
とても楽しかった。そして、この本が本の紹介をきっかけに、他の人の意見を聞いて、  
読んでみたい本がある。これからは、自分も本を読んでみたい。

さまざまな種類の本の発表を聞いて、今までは、一定の種類の本しか  
読んでいなかったけれど、今後は、さまざまな本を、ために読んでみたい  
と思いました。私は小説を読むのが好きですが、物語以外  
でも、自分も知っている本や、知識が増えるような本に興味を持ち、  
この学習を通して、自分のために本を読むことにしたいです。

## 成果と課題

- ### 1 成果
- ・互いに本を紹介し合う雰囲気が出てきた。
  - ・読書の幅を広げようとする意欲が高まった。
  - ・教師や友人に紹介された本を実際に読んだり、図書館から借りたりする生徒が増えてきた。

- ### 2 課題
- ・高まってきた幅広い読書への意欲を、実際に本を読む行為に結びつけていく手だての工夫。
  - ・効果的な紹介のために、他の教師や司書ボランティアの方との連携の推進。